



地方改良事業講演集 下

のである。それでありまして、私は行政整理といふ事がそんなに必要でないと思ふ。それよりも事務整理が何よりも必要であると思ふ。或は局課を廢合するとか、定員を減ずるとか、縣を廢するとか、郡を分合するとかいふことも、勿論必要でありませうが、する仕事はどうしてもやらなければならぬのでありますから、事務を整理して其上で、各種の方面を整理しなければならないのであるが、唯大聲疾呼して居るだけではいかぬ唯何事でも着實に仕事をして行かなければならぬと考へるのであります。尙ほ時が許しましたならば、例へば教育の事なり、特種の産業の事なりに就いて、見て來た事や感じた事をお話して、諸君のお考へを煩はしたいと思つて居るのであります。私は、エライ頭の高い人に、それを言ふのを望まない。寧ろ實際の局に當つて、事實を處理して居る諸君にお話をして、何かと希望する方が、一番利益も多からうと考へるのであります。何時か又さういふやうな事に就いて卑見を述べたり、又お話を承はつたりしやうといふ考へを有つて居ります。これは他日を期することに致しまして、今日は雜駁なお話をしたのであります。さうして不完全ながら、聊か諸君の參考に供して、少しく執務の材料になるやうなものゝお話を致した次第であります。(終)

實行の時
なる解
行

歐米に於る地方改良事業

内務省囑託 生江孝之君講演

私ののは歐米に於ける地方改良事業といふ大分廣い表題であります。其内の田園都市の經營に就て申述べやうと思ふのであります。若し幸に時間がございすれば尙ほ模範工場或は住宅問題等に付きまして御參考に供したいと思ひます。

(一) 田園都市の首唱者と其動機、先づ動機の方から申し上げますれば、どういふ譯で田園都市を起すやうになつたかといふことに就てはいろいろの理由がありますが要するに今日の社會の實相を見ますれば、現在の都市經營、村落經營に就て今日よりも何か變つた方法が無ければ到底歐米に於ける健全なる都市、健全なる村落を造ることが出来ないといふのが重なる原因であります。それを更に詳しく申し上げますれば先づ第一に都會は病的に膨脹をなし村落は次第に衰頽を來たすと云ふ事でありまして、其例として英國の都會と村落の人口の割合を簡單に申上れば、千八百九十一年の統計では英國の人口が四千貳百二十五萬人で、内都市の人口が六割五分、町の人口が一割二分、村落の人口が二割三分であります。更に千九百一年の調査によりますと人口は四千四百七十二萬人でございまして都會は三千萬

人で七割に上り町は一割一分村落は二割弱、かういふ比例になつて參つて居るのであります。それで英國では村落から都會に移住する割合がこれを他の諸國に比較致しまして甚だ迅速であるのみならず、これを都會と村落に分けますると都會が八割村落が二割になるのでありますから、英國に於ける村落は甚だ疲弊して居ると申して差支へないのであります。此傾向は單り英國に止まつて居りませぬ。獨逸の如きも矢張り最近の統計によりますと村落の人口よりも都會の人口が多い、佛蘭西は今日尙ほ村落の人口が多く、亞米利加も尙ほ村落の人口は多いのでございますけれども次第々々に都會の人口が殖へて參ります。其比例は村落のそれと比べますと優に都會の方が多いのでありますから、都會は病的に發達を致して村落が疲弊を致すといふことに就ては、何かこれを喰止める法がございませぬならば英國は勿論歐米各國に於ても遂には頗る危険な社會的現象を來すべきは火を見るよりも明であります。それは單り歐羅巴のみではございませぬ、日本に於ても此傾向があるのでありますからどうかして此村落の健全なる發達を圖りまして、徒に都會に人を出さないといふことは國是と申しませうか、國の方針から申してどうしても力を致さねばならぬことであると思ひます。第二は富の分配であります。これは外國に於て御承知の如く特に甚だしき不健全の分配をなして居ります。けれどもこれは自然の傾向でありまして、人爲を以て容易に左右することは出來ないのであります。亞米利加の例を申上げ

ますと、茲に一萬人の人が居ると假定致します。さうして亞米利加の富をどういふ風に其人々に分配致すかといへば、一萬人の中の三人が各々六百六十弗の分配を受ける、第二の八百人が各々五十弗第三に位して居る勞働者九千百餘人は各々二弗二十仙の分配になります。これは非常に不健全なる分配と申しても差支なからうと思ひます。これをどういふ風に分配したらよからうかと云ふことは學者間にも屢々唱道せられ實際家にも屢々研究されて、尙ほ現在の社會に於て容易に解釋する事が出來ないのでございますけれども、現状から申すと今申したやうな事情になつて居る。第三には貧民窟の状態を研究致しまするならばどうしても現在の都市を改良しなければならぬといふ考が起るのであります。井上義事官が私を紹介して下されて歐羅巴或は亞米利加に於て數年間貧民窟に這入つて研究をしたと申されましたが、餘り自慢すべきことではありませんが、併し實際貧民の研究を致しました、外に衣食の途もないから貧民窟に這入つたのであらうと思召す方もありませう、さう思つて戴いても差支ないが實はそうではないのであります。今日の歐羅巴各國に於ける貧民の状態はどういふものであるか、さうしてどこに貧民になる病源があつて、どうしたならばこれを改善することが出來るかといふやうな、エラク云へばいくらか高い考へを以て調査しました。其貧民の状態は私が見ました範圍に於ては紐育の貧民が一番悲惨なる状態に居ります。其次は倫敦でありませう、其次はグラスゴー市であります、

同市は蘇格蘭の模範都市と呼ばれて居りますが其貧民窟は矢張り慘憺たる状態で御座ります。これ等の實際を見ますと實に何と申してよいか同情に堪へませぬ。私は十年程前に亞米利加並に歐羅巴へ参りまして貧民問題或は感化院の事業、或は慈善救済の事業を重に研究致しましたが、四五年経つて日本に歸りまして、日本は實に立派な國である、日本は將來天下に雄飛するに足る國であるといふことを深く感じました。といふのは紐育なり倫敦なりの驚ろくべき繁榮は知つて居りますが、併し自分も多く貧民窟に計り這入つたのでありますから、其貧民窟の状態は東京で云へば萬年町なり或は鮫ヶ橋と比較致しますと餘程の差があります。貴下方はどうか知りませぬが、私などは萬年町なり鮫ヶ橋に這入つて住んで居つても餘り辛棒の出來ないことはございますまい、けれども外國に於ける貧民窟の様子を知り又實際其所に生活を致すことは餘程献身的でなければ出來ない仕事であります、この點より考へますれば日本は幸福な國又立派な國であつて貧民に對する一般の負擔が少ない丈、國運發達の途が大いわけでありませぬ、それで英國はどれ程貧民救済の爲めに金を使つて居るかと申すと英國全體に於て先づ貳億圓から貳億三四千萬圓の巨金を恤救規則によつて使つて居ります。それから私立の慈善救済の爲には倫敦計りで約一億圓に上つて居る。尤もこれには慈善病院なども這入つて居ります、英國の病院は皆慈善的のものでありまして日本で云へば縣立或は公立の病院といふやうなものは

遊病院や癩癩院の様な者の外は一つも無いのであります。さういふ者も加はつては居りますが兎に角倫敦市のみで一億圓を私立慈善事業に使つて居るといふことを以て、どれ程貧民が多くてどれ程暗黒の社會が廣いかを知ることが出来る。又他の一面から考へれば公德或は慈善の精神が頗る發達して居ることをも知ることが出来るがそれ丈の巨額の金員がなければ充分の救済が出來ぬ事と信じます。井上參事官もお話でありましたが、私もカーネギーの生れましたダンフアールンに参りましてカーネギーの生れた場所カーネギーのダンフアールンに於ける施設經營なども見て参りました、同翁は勿論特別の人でありますけれども、今日まで社會公共の爲に使いました金は約二億二千萬圓といふ巨額になつて居ります。おツつけ三億圓になるでございませう。さういふ金を使つて社會改善に全力を盡す人もありますが、兎に角都會の現象貧民窟の現象は日本の貧民窟よりは仲々に慘憺たるものであります。斯く申ばとして私は日本の貧民窟をその儘に放棄して可なりといふのでは御座りませぬ、改善し又救済せねばならぬ事が幾多もありますが、之を外國に比すれば未だその甚たしきに達せないと申すのであります。これは私の實見より申上たのでありますが都市及社會の現在の有様に注意して居る人には誰も注意を去ることの出來ないことであります。それで此出園都市を經營致し設計を致しました人はかういふ様な現象を見まして何かこれが改善の道なかるべからずと平生思つて居つた、ところが千

八百九十年(今を去る十七年前)に亞米利加のエーワード、ベラミーといふ人が「回顧」といふ小説を著した、其趣意は自分等は所謂理想の都會に居りてさうして曾てありし慘憺たる都市の状況を回顧したといふのでありますが、其寓意小説の目的は現在の社會を罵倒してこれが改良を圖つたのであります。其小説を見まして非常に感奮を致し一種の靈感に打たれた人は誰れであるかと申すと、即ち田園都市の首唱者であるエベネザル、ハワードといふ人である。どうかして此都會を改良し地方村落の發展を圖らねばならぬとしてこれが設計考案を企てたのであります。

(二)設計の大要と當時の非難。 然らばどういふ設計を致したかといふと詳しいことは第三で申述べますが、種々自ら考慮を廻らし或は書籍を涉獵致しまして古人の意見を尋ね、或は實際家に付て種々なる知識を借りました結果、千八百九十八年(今を去る十年前)「明日」といふ小説を著したのであります。これは即ち回顧に對する對照の言葉でありますが、今はかういふ現状であるが將來はどうすべきものかといふ意味であります。其大意はつまり都會に村落及び天然の趣味を興へ村落に都會の娛樂を興へるといふので、更に詳説せば今日までは都會は都會だけで發達し村落は村落で疲弊して居りますが、村落と都會の接合調和若しくは同盟が出来て居らない、爲に都會は次第に病的になり村落は次第に疲弊することになつて來る。それで村落に都會の娛樂を興へ又都會に村落の趣味を興へることを兩方

結合してやつたならば今日の都會の病的の發達を防遏し尙村落の疲弊を救ふことが出来るであらうといふのが一つの意味であります。もう一つの意味は一體この都會が病的に發達し従つて貧民の多くなる譯はいろいろ原因があるが一つには市街の地價が非常に高騰致しまして貧民ならざる中流の人でもナカク相當の家には住めなくなる。俸給に衣食する人は俸給が決まつて居るから家賃が騰つたり地代が上つたりすることは非常に困る、況んや労働者は勿論である、それはどういふ譯かといふと全く之れ需要供給の度に支配せらるゝわけで止を得ない、結局土地を有つて居る人は寝て食つて居るが、土地を有つて居らぬ人は朝から晩まで働いて尙ほ且つ衣食の道に窮するといふやうな、有様になつて居ります。故に「田園都市」に於ては其土地を市有にしてしまふてこの困難の問題を解決する積なのであります。それから其都市を經營するに一つの設計がありまして其設計によつて家屋を建て市街を作り農村を作り工場を設けるといふのであります。従つて其結果は人口の制限になります、つまり此田園都市には三萬人しか住めない其次に起る田園都市には五萬人しか住めないといふ土地の廣袤に應じて人口の制限を加へる。もう一つは此都市を作つて其出來上つた都市に於ては生活上自由の競争を許す事でありまして、これは一見少しも不思議でないやうであります、ハワード氏の考案としてはこれが一番實際的でありまして、今までいろいろ同じ計畫をして失敗した人が澤山ありますがハワード氏の考へ

が實際に適して今日成功して居る所以の一つは其都會の内に生存上の自由競争を許して居ることであり、これが即ち「明日」といふ寓意小説の大意であります。此小説が一度出版されて後、各種の新聞より種々なる批評を受けたのであります。其中一二は時代の趨勢に適したのものとして稱賛を博したのでありますけれども先づ殆んど總ての新聞ではこれは一種の屋氣樓であるといひ、タイムズ新聞の如きもかゝる都市が英國に或は其他の國に起ることを夢想して居る人が今尙ほあるかと申しましたり、或は又或る新聞の如きはハワード氏を書記に雇ふたならば仕事は出来るであらうが書記に雇ふ前にかういふ事業を計畫する人がなければ、書記になれないからハワード氏の「明日」といふ小説も明日をいつまでも繼續するならば知らぬこと、先づ近き將來に於てそんなことは實際に現はれることはなからうといふやうな冷評罵倒を以て之に報いたのが多かつたのであります。

(三)實際の施設と將來の經營、かゝる批評のありましたにも拘はらず、尙ほ現在の都會の状態村落の疲弊して居りまする有様を見て憂慮して居る幾多の有志等がどうかしてこれを實際に經營して見たいといふやうな考へがボツ／＼起りました、先づ第一に千八百九十九年に田園都市協會といふものを設立致して一種の雑誌を發行致しました、これは今日も尙ほ繼續して居ります。つまり雑誌により遊説によつて此主旨を天下に公にし又これを擴張したいといふのであります、其雑誌の効果によりまし

て其次に田園都市撰定協會といふものが起りました、それはどういふものかといへば、段々雑誌が世の中に沈まりましたからして、それに依つて實際にやつて見ではどうかといふものが段々出て参りまして己れか金を出さう己れもいづらか分擔しやうといふものが相寄りまして廿萬圓の金を集めて今田園都市撰定協會を起したのは千九百二年(今を去る六年前)であります。一年間かゝつて土地を撰みました結果、倫敦市を去る西北の方三十四哩の所にレッチウオーズといふ所があります。こゝは極く寒村であつたのでありますがこの場所に場所を定めまして買ふことになりました。既に撰定か濟みましたからして千九百三年に田園都市株式會社なるものを起しまして三百萬圓の資金を募集したのであります。其場所の廣さは三千八百「エーカー」(千五百町非餘)でそれを百五十萬圓で買ふたのであります。それから愈々此所に田園都市を設計することになりました、田園都市はどういふ風に設計を致したかと申すと、先づ其設計の内容は市街區、農村區、工業區、の三つに大別を致しました、市街區を分ちまして商業地、邸宅地の二つに致し工業區を分ちまして會社工場職工の賃屋などを建てる場所に致しました、又農業區を分ちまして農家と分賃地の二つに致しました、それから市街區と工業區は全地域の三分の一を占め農業區は三分の二を占めるといふ初めからの計畫であつて、それは動すことが出来ないことになつて居る、そこに住む人口は先づ三萬人といふのであります、農村の方

は三千五百人であります。さういふ風に一定の區劃を立てましてそれに家屋を建てるのであります。が、家屋建築にもいろいろの方法があります。ここへ移る人は誰れでも構はない、百姓がしたいと思ふものは百姓をし工場を設けたいと思ふものは工場を設ける。金持が隱居をしたいと思へば隱居することも出来る。或はそこから倫敦に通ひたいと思ふ人はそこに邸宅を設けても構はない、又商業をしたいと思ふ人は其所で商業を営ませるのであります。併しながら總ての人が金を有つて居るのではありませぬから何かそれに便法を興へなければならぬ。其の第一は家屋建築を營業として居る會社で家を建て、低利で貸すといふ方法も一つであります、其の次は會社が自分で工場を建て或は職工長屋を立て、安く貸すといふ方法も備つて居る。もう一つは田園都市貸家協會といふものが起つて其協會が家を建て、其の建てる方法は若干人を株主と致しまして株主に對しては五朱の利を配當して五朱以外に利益があつたならば其後の利益を借家人の家賃の拂ひ高に應じて分配するのであります。これは決して營利事業ではございませぬ。こゝに私が一軒家を借りると致しますと私が其の會社の株主になる、さうすると利益があると五朱の配當を受ける、それが一割とか一割二分の利益があると後の五朱なり七朱の利益は其の借家料の割合に應じて借家人に按分比例で分配をするのであります。故に借家人は一方には株主として分配を受け一方には利益が自分に戻つて參りますから、なるだけ家を壞さな

いやうに自分の家を扱ふやうにして居る、それで家屋の費用がかゝらないから自然利益が多い、利益が多ければ分配を受けるから會社は營利事業ではございませぬが勿論五朱の利は安全に配當が出来て借家人に多大の便利を興へるといふ方法であります。これは獨り田園都市のみならず他に於ても同じやうな計畫をして何れも非常に成功して居る、其の次には慈善家が家屋を建て、これも相當に安く貸して居る。又田園都市株式會社が相當の家を建て、相當の價を以て貸して居る。それから自分で家を建てたいと思ふが金がないといふ場合は其の八割を會社から貸して建築をさせるといふ方法もあります、兎に角かゝる種々な方法がございまして労働者でも商業家でも或は相當の資金は持つて居るが家屋を建てるまでの金がないといふものも會社から低利で八割だけは借りるといふ方法で家を作つて居る。

こゝでチヨット申し上げたいことは家屋の構造が健康及び精神に及ぼす影響といふものは頗る多大であるとの事でございます。日本に於てはまだ左程ではない様ですが併ながら先程申しました通り外國に於ける貧民窟の住宅の狀況と田園都市或は市營の貸長家等とを比較して見ますと非常な違ひでありまして其田園都市或は市營貸長家に住んで居る労働者の健康及び精神に及ぼす影響は死亡表などを比べて見ましても非常な相違でございまして。例へば田園都市に於ける死亡者は六千人に一人の割合で

ございます、かかる死亡率の少ない所は世界にございませぬ、これを英國の他の都會の死亡率に比べますと六千人に就て百人或は九十七八人の割合である、勿論貧民窟だけを比べて見るならば六千人に對して貳百人も二百五十人もありませうが英國全體を通じて先づ九十七八人から百人近いのであります、然るに此田園都市に於ては六千人に就て唯一人の死亡しかないといふ、此一事を以て見ても家屋の構造はどれ程健康保持の上に影響を及ぼすか、明に分ると思ひます、私等の考へる所によりますれば、話が少し横道に這入りますが貧民改良の上で最も注意すべき一事は住宅改良であると思ひます。倫敦市が餘程死亡率が減して參た其譯は何であるかと云ふと、即ち倫敦市に於ては多額の金員と非常な努力とを以て經營して居りまする市營の貸家を各地に建築して居りますがこれが今日倫敦市のやうな所に於ても死亡率を大に減した一つの原因でございませう、田園都市に於ても其點は明に見ることが出來ます。

かういふ風にして家屋を建築致しましたが目下どれ程の家屋が建築され目下の狀況はどうかといふと、これは前に申し上げました通り設立以來尙ほ日が淺く僅かに四五年の年處しか經て居りませぬから三萬人には達して居りませぬが現在の有様で申すと、家屋は千百戸出來て居ります、人口は四年程前にこれを起しました時は、レッチウオースには農民が四百人しなかつたのであります、私が昨年十月參り

ました時の統計では六千人になつて居りました、工場の數が大小廿四個職工が一千人消費及び購買販賣組合のやうなものが四十五、禮拜堂とか公會堂が九ヶ所新しい人道が八哩下水が十一哩瓦折水道電氣といふやうなものが矢張り經營になつて居ります。公園の坪數が五十町歩、巡查が二人學校が今三校あります、俱樂部と娛樂機關は七十ある。これが諸君のよく御注意を願ひたい所であつて一方に於ては宗教の活動、學校の教育又娛樂機關が七十もある、即ち此人口の少い都市にこれだけの娛樂機關、教育機關等の備つて居るのでこれが成功致す所以の一つでありませう、七十もありまする其娛樂又は教育機關を一々申上げることは出來ませぬが音樂會の如き或は演劇會、農業改良會、或は講演會或は料理會、自轉車遠乗會、圖書館、公園、庭園、野球場、「ボリング」又夏期には水泳場等種々なものがありますから一日に二つか三つの會がそちらこちらに必ずない日はない、自分が何か娛樂を得たいと思ひますれば其何れかに參りますと必ず何かありますから先づ人口から申せば六千人であります、娛樂機關が備つて居り種々な集會がありますからそれに依つて無聊を感ずるといふとは甚だ少ない、こゝで一つ申上げたいことは此村落には酒屋がないことであります。英國及び歐羅巴大陸何所でも酒屋の數が非常に多い、例へば紐育市には一萬の居酒屋があります。倫敦に參りますと市内の道路が甚だうねつて居つてよく分りませぬ。それで倫敦に參つて道を尋ねるとあそこの酒屋から何軒目である。こゝの

酒屋から右へ廻るとかいつて、酒屋が道を教へる地點になつて居る位酒屋の數が多くて酔漢が非常に多い、それで英國で一ケ年に酒の爲にどれ程金を費すかといふと十六億萬圓計りの金を使ふ。亞米利加も十八億萬圓位使ふ。此點から申すと外國には非常に酒屋が澤山ある日本には酒屋が足らぬからモウ少し殖やしたらよからうといふ譯で「ビヤホール」などをやる人があるやうであります、私は絶對的に反對であります。どうかして此「ビヤホール」などは少しもなく他の娛樂を以てこれを防遏することの出来るやうにしたい、即ち此外國に於ける模範工場の如き或は田園都市に於て酒屋がないといふことは其點に於ても大に推奨することが出来ると思ひます。私が參つて居りました時に酒屋を置くか置かぬかを投票する時でハワード氏が私にお前はどちらがよいと思ふかと申しました、そこで私は酒屋禁止には大賛成であります。かういふ所は酒屋なくしてやり通すことが出来るならば世界の模範になるが、酒屋を置いて酔漢が出来るならば決して模範都市ではない、若しも私が田園都市の市民であれば大聲疾呼して其不可を鳴らすと申します所が、ハワード氏は手を打つて大に褒めて呉れましたが今尙は酒屋はない、併しラムネとか其他の清涼飲料等があります。大畧叙上の有様で此三四年の間にかゝる現象になりましたので先に冷評を致しました多くの新聞社も地方の有力者も大にこれを稱讚して只今では新聞に雑誌に田園都市のことを謳歌せぬものはないといふことになつたのであります。これ

は大體でございますが、將來の經營に就ては今金が餘り無いから自立つたことは出来ませぬが、將來の經營としては前申した通りこれを全く市有にするといふことが重なる計畫であります。今は株式會社で現に五厘の利を拂つてやつて居ります。勿論これに出資致したものは云はゞ重に博愛家又は社會改良家でありますから利息を目的に事業を起したのではありませぬが、次第に年處を経るに従つていつまでも株式會社の經營に屬して居つては田園都市の最後の目的を達する者でありませぬから市が公債を起して其公債によつて田園都市株式會社より買收して市有にして市が此都市を經營するといふことが近き將來に於て起ることでありませう。そふなれば他の都會が始終困難を感じて居るやうに地代が騰るといふこともなければ貧民が其爲に家賃が高くなつて困るといふことはない、申すまでもなく家賃の高い重なる理由は地代が高いからであります。けれども市の所有になるといくら地代を取るにしても市の經營に使ふのでありますから個人の懐ろに這入つて分配の不平均を起すやうなことはなくなり、土地から起る現在の病弊を全く防ぐことが出来るのであります。かう申うしますと此事業はナカ／＼宏大なものでありまして日本などに於て容易に起すことが出来ないのでありませうが外國に於ても唯だ一つの例でありましてハワード氏の設計によりてこれが實行せられ又此實行に伴つて將來此所が三萬人に達しますれば更に他に同じものを作りまして倫敦とかバーミンガムとかマンチエスタ

歐米に於る地方改良事業

「とかグラスゴーとかいふやうな大きな都會の病弊を防いで農村を益々健全にしたいといふ其理想に達し得ることが出来るであらうと思ひます。それから實際の設計圖に就て申しますが、ヘアード氏最初の經營は「明日」といふ寓意小説に書いてありますが、それによると全く平原であつてそこには道路も何もない、其場所に模範都市を作るといふ考へで設計を致したのであります。然るにレウチウオースといふ所を買つた所がそこは平坦の土地ではござりませぬ。又以前から道路も幾分出來て居り人家もいくらありました、夫で實際とヘアード氏の寓意小説に書いた設計とは餘程趣が違つて居りますけれども大體に於て農村を三分の二市街區を三分の一に決めることは變りませぬ、只都市の首腦部をどこに置く、工場をどこに置くといふやうなことは自ら違はざるを得なかつたのであります。これが即ち今の田園都市の有様であります、(圖を示す) 中には大北鐵道といふのがありましてゲンブリッの方に通つて居ります。而して市の中央にレウチウオース停車場があります。これは勿論此田園都市が出來上つてからの停車場であります、此町の中央に鐵道が敷いてあります。此鐵道のある所は自然に窪んで居る所であつて兩方が高地でありますから、列車が毎日何回となく通つてもいくらか煙のあることや音の響きは致しますが、平地を通るのは趣が違つて農村の趣味を害せざる範圍に於て、折々文明の利器たる汽車の走る音が微かに聞へる位に都合よく出來て居ります。此鐵道に添ふた所に工場の

敷地を撰んで其傍らに職工長屋があります。職工長屋と申しても五軒も八軒も一緒の所は極く少いで一軒々々のものと三四軒位のものか一緒になつて居ります。さうして前には小さい庭があり後ろには蔬菜でも栽培するとの出來るやうな畑が付いて居ります。初め職工は都會に於ては花園などをその附近に見たとのない人間が多い、家に歸つて見ると妻君は臭い躰をして居る小供は餓鬼のやうな姿をして居る、自分が終日汗水をたらして働いて歸ると、暑くるしい所でありますから労働者は家へ歸つて何等の慰安もない、何等の愉快もないので多くは酒屋に行くとか博奕を打つとかいふとで勞銀の大半を費すといふやうな悲慘の狀況を呈して居る。ところが此職工長屋には前には四季折々の花が咲いて居り後ろには畑があつて子供は御父さんの歸りを待つて居る、貧民窟の子供を見ると全く可愛といふ相貌がない、ところがかういふ所へ移ると人相が變つて來る子供は庭に咲いて居る花の一輪を摘んでお父さんの歸りを待つて居る、お父さんは工場から家に樂んで歸つて來る其工場も倫敦等の都會にある工場とは趣が違つて空氣もよく流通し光線も遠慮なく透射する、労働時間も他より少いから健康に適して居る、工場で働いて家に歸ると子供が待つて居つて御父さんの姿を見ると絶つて花一輪をやると思ふ様な有様、さうすると子供に對する愛情一會て労働者がこれ程深く實際に起したとのないやうな美妙なる情に打たれる。妻君の顔色も貧民窟では空氣も光線も流通が悪く營養が不完全だから甚だ

歐米に於る地方改良事業

見苦しいが、こゝに住むと妻君の顔色も餘程光澤が出来て参ります、其妻君は夫の歸りを待つて居る。況んや裏には畑があつてテーブルに上るものは我家で作つた蔬菜である、私は屢々貧民窟に這入つて食事も共に致したとがある、或は夜十二時一時頃に行つて食事後のテーブルも見たとありますが、實に慘憺たる有様である。それは薄暗い所であると汚いテーブル掛や破茶碗などを置いても餘り目に付かぬが、光線が透ると目に付くから餘り汚いものは置けないことになる。それで綺麗なテーブル掛で妻君と子供と同じテーブルに着て食事をするといふことになる、これは他の病的に發達して居る現在の都會の彼等の社會に於て見ることの出来得ざる現象であります。更に感じますことは労働者の人相であります。一體労働者の人相は仲々陰險で淋しい瘠せこけた者が多い、若し肥つて居れば酒肥りといふやうなものでそれに一種嫌厭すべき臭氣があります、さういふ有様であるから社會からは擯斥せられ自分も自暴自棄になつて居るが、斯る改良の住宅に住めば自然自重の精神を起しさうして英國の所謂「ホーム」といふことを樂むことになり相貌に至大の變化を起します、一體英國人の今日世界に雄飛して居る原因はいくつもありませうが、「ホーム」といふことに重きを置くことは英國を研究するものゝ見逃すことの出来ない所でもあります。佛蘭西人の失敗することはいくつもありませうが殊に殖民又は移住事業に於て失敗して居るのは彼等が家庭の樂みを重んずる事英國の様ではありませぬから遠

い所に移住して成功することが出来ない、英吉利人は家庭を樂しむからどこへ行つても夫婦親子が樂んで健全なる土臺を作ることが出来る、けれども貧民窟に於ては其家庭が全く破壊されて居るが田園都市或は模範農村に於ては英國の家庭が労働者の中にも現實せられて樂しい家庭を作り或は娛樂機關に親子相携へて行くとか日曜日には黒帽子でも被つて教會に出掛けることになつて居る、故に酒を飲まずに樂しみを家庭に求め更に平生は労働を愉快にすることが出来るのでこれが田園都市の最も重んずべき又大に世間から稱讃を受けて居る所以の一つであります。

それから市街地には無暗に家を建てることは出来ませぬ、道路が區劃されて居つて其間に建築する數も決まつて居ります、其市街地の體裁も後ろにはチヨットした畑がある、前には庭と申す程ではありませぬが、往來の兩側には樹木が植へてあつて買物に出かけるにも夏などであつても余り炎天に曝されないで往來を通つて行くことの出来るやうになつて居ります。家屋の數は「エトカー」に十二戸以上は造ることが出来ないことになつて居ります。又此中の邸宅地と申すのは東京で云へば番町のやうな所、昔の所謂士族屋敷といふやうな所でありまして、相當な生活をおこして居る商賈人でも農業者でも労働者でもないやうなものが邸宅を設けることの出来るやうになつて居ります。又農村には三千五百人しか住むことが出来ないのでありますから人家も限られてあります、其戸數及人口を制限したの

は勿論それだけあれば此農村を開墾することが出来るといふ所からであります。其外に分貸地といふものがあります。それは労働者が工場から歸つて来る、今までは酒屋へ行つたものが酒屋もなく又酒も飲まないで済むやうになつて居りますから、何か變化ある仕事をしたいといふやうな考へになる。殊に英國及び北方歐羅巴では夏期中は仲々に日中が長い倫敦の如き夏期中であると先づ九時半か十時でなければ點火は致しませぬ。故に朝八時なり七時半から働いて四時乃至四時半に終ると其後の時間が長いから何か仕事をしたい、そこで此分貸園といふものを「エーカー」とか「エーカー」半貸すことになりて居ります。そこで妻君と子供と共に鋤鍬を携へて一時間働くことになつて居ります。かういふ風にして三分の二を農村に取つてあるのであります。(圖を示す)これが首脳部であります、まだ私共參つた時には出来て居りませぬ、これは市の中心點でありまして將來市の重なる機關は此所に集るのであります。故に道幅も二百尺か二百五十尺の廣さであります。この邊は今日では最早出来て居るかも知れませぬ、又前にチヨット申し上げましたが、道路は割合に屈折を致して居ります。これが模範の村落なり田園都市と致しては如何かと思ふのであります。これまた止を得ない次第で土地に高低があるのとこゝに元とから公園のやうなものがありましたり、小川低丘があり或は鐵道が通つて居るといふ譯でどうしても初め理想したやうに眞直に出来ませぬから此地形に應じてかうなつたのであります。

(四)田園都市の二週間、私か此所へ參りましたのは昨年でありまして八月の十五日から二週間レインズ・アミニューといふ町の宿屋に泊つて居つたのであります。當時夏期講習會がございまして其講習會には都市改良の問題、村落經營の問題、田園都市の問題或は教育のこと衛生のこと社會問題といふやうに種々なる問題がございまして英國に於ける大家が集つて居つたのであります。私も出来得るだけ出席致しまして其講演を聞いたのであります、勿論其講習會の目的は都市の改良村落の改善といふことが中心となつて居りまして私に於ても少なからず益する所がありました。私にも何か話せといふことでありましたが、私は故あつて辭退をしたのであります。それから又折々倫敦の新聞記者を呼んで此經營を見て貰つて其結果を翌日の新聞に書いて貰ふとがありまして、これは一年一回か二回しかありませぬが私が參りました時が丁度其折で倫敦の幾多の新聞記者が總ての經營を隈なく見て廻りました、私もそれに附て詳しく見る事が出来たのであります。其時に大分日本のことが話題になりまして翌日の新聞を見ると日本の内務省から囑托を受けた生江と云ふ男が能々研究に來た、日本に於ても都市と農村の調査の爲に力を盡して居るのであるから大に日本といふ國は其點に於ても尊敬すべき所がある。といふて日本を紹介し併せて私が紹介された譯でありまして倫敦及其附近の各新聞記者が參つたのでありますから日本が如何に都會の改善農村の整齊に力を盡して居るかを間接に紹介するこ

とが出来たやうな便もあつたのであります。

それから私が一つ困つたところがありました。それは私の宿屋は素食主義でありまして野菜許り食つて居る、二週間居りました内に肉類を食べたのは招待會に招かれた一回と、もう一度はどうしても我慢が出来ないで他に出て西洋料理を食べた、其二回の外は全く素食で我慢したのであります。それも日本の野菜で日本の料理法であれば我慢も出来ませんが、外國の素食を二週間續けたとは我輩たる者豈辟易せざるを得べけんやでございますして私は我慢が出来ても胃の腑が承知が出来ずに遂にストライキを起して消化して呉れませぬ。止を得ず藥を飲んで我慢して居りました、それなら外へ移つたらよからうと思ふがそれには理由がある。其重なる理由は私が前に参りました時にデッケンスといふ人が非常に叮嚀に私を世話して呉れた、其人が素食主義でそこに泊つて居る私も素食主義にしたいといふので来いといふ爲に辭退が出来なかつた、外國に参つて西洋料理に預る事が出来ないので、二週間の間素食で辛棒したといふのは恐らく私の外に經驗した人はあるまいと思ひます。それから私が毎日の様に田園都市を散歩して居りましたが前にも申した通り公園は殆んど五六十町歩もありますから、大小の公園はそれぞれにもこちらにもある、其一つに「ノルトン」公園といふのがあります。これはナカ／＼廣い公園でございますして非常に古くからあるので公園と申しても古昔公共の牧場といふやうな者であつて。樹木は

森々と茂つて居ります。公園としては設備の不完全のものであります、頗る風景の美しい所であります。そこに一條の道があります。其道は今を去ること二千年前の道でそれが一つ残つて居る、私は夕方「ノルトン」公園を散歩する毎に必らず其道を通りますが自分が英國の一角に於て田園都市を研究つゝ三千年前に幾多の人が幾多の感想を起した其土地其道路に一條の杖を伴侶として散策致します時は實に無限の感想湧て禁することが出来なかつたのであります。其感想の重なるものは感謝の念でありました、自分が此土地へ参つたのは日本人では初めてあります。最初に田園都市に来て此場所を研究することが出来多大の便宜と優待とを得て此の週間を費すことの出来るのは自分の一生涯の中に於て最も愉快なる時で自分は此感謝の心を持續して、どうか日本に於て先輩の手足となり驥尾に附いて農村改良都會改善の爲めに力を盡したいといふ一種の靈感を禁することが出来なかつたので今も尚ほ其散策を致したことを思ひ起すと、當時のことが眼前に浮ぶやうな念が致します、それから「ハワード」氏に二週間附いて居つて實際のことから種々のことを尋ねましたが「ハワード」氏は實に優待をして呉れました、一日私が馬車を驅りて氏と一緒に諸方を見て歩いた、ところが私の帽が風に取りられて數間先に飛びましたそれから私が馬車から下りて拾はふと思つたら老體の「ハワード」氏がそんなことをしないでよいといふて態々下りて取つて呉れました此六十歳の老人が私を引止めて態々馬車を下りて帽子

を拾つて渡して呉れたのであります、これは勿論それのみを以てハワード氏が非常に親切な人とは云へますまいが兎に角我々如きに對してさういふとまでもやつて呉れたのであります。私は遠慮なしにいろいろ質問をしました。ハワード氏は非常に忙がしい人であります。私はそれを知つてをりませんが夜九時半頃五町程あるハワード氏の家に参りました、私が家に近づくまでは明りが點いて居つたが戸を叩かうと思つた時に消へた、併し折角こゝまで來たのであるからと思つてドン／＼叩きましたら直きに又明りが點きました、戸が明くとハワード氏が現はれて、ア、生江君かといふ譯でマア這入れといふ、もう御休みでせうといふたら今休むところであつたが宜しいといふて引入れて呉れましたそれがら上りまして約一時間程いろいろ聽きましたが、君の爲に私かいろいろ説明して田園都市の精神が分りさうしてそれが日本にも幾分か應用する道があるならばそれは自分の爲には頗る光榮であるからどんな場合でも分らぬことは來て聽いて貰ひたいと申しました其時切りに日本のことも聽きたがつて非常に戦争後の日本を推奨して居りました、私は内務省で印刷した畫帖の英語の説明の書いたのを持つて参りましたが妻君を呼んで面白いから聽けといひましたが、妻君はハワード氏より利口であると見へまして態々田園都市のことを聽きにお出でになつたのだから田園都市のことをお話しになつたらよからうといふ譯で妻君はそこへ來させなかつたがハワード氏は日本のことをいろいろ尋ねまして其話

の中にどうか日本から農業の技師或は百姓を一月か二戸送つて貰ひたい、日本は小農法に於ては最も通して居る所であらう、故に相當の金を出すから誰れか農業の技師を一人送つて呉れることは出來まいかといふて居られました。あつたならば研究の爲にお出になつたら向ふの爲にもこちらの爲にもよいかも知れぬと思ひます。兎に角日本の農夫を歓迎する考を持つて居ります。さういふ譯で私の今度の外國漫遊中に於て此田園都市の二週間は最も愉快に感じたのであります。

(五)田園都市の效果と其教訓、此效果のことに付ては今まで申した通りで最早申上げる必要もありませんまい一定の區劃を立て一定の設備を致してそこに人口の制限をして百姓にも労働者にも商人にも皆便利を興へて互に相結合し互に相調和して農村の趣味と都會の娛樂を合せ興へやうといふことが實現されて居るのであります。此田園都市が成功致しますならば恐らくは英國の各地に於てかういふものが起るでありませう、又これに伴つて模範農村といふやうなものが大分起つて居ります。例へばポルトサンライトの如き或はバルンヒールの如き或はヨークの如き或は亞米利加のマサチューセツツ州の「トレーパーカンパニー」の如きさういふものは皆田園農村でありまして、設計はこれより大きくはありませぬが、併し田園都市の精神が即ち農村と都市を調和するといふことに付ては今日大に潮聲致しまして英國政府に於ても都市改良法案なるものを昨年議會に提出したことでありますから將來

に於ては都市は今日より大分變つたものになるであらうといふことは必ずしも空想ではございませぬ
 ハワード氏も屢々私に語りました、五十年後の農村五十年後の都市は現在とは非常に變化したものに
 なるであらう、若しも現代の有様で都市が膨脹し村落が衰微したならば國家の將來はどうなるか分ら
 ぬ、頗る憂慮すべきものであるが、併し此田園都市の精神が今後英國其他の歐羅巴に普及されるなら
 ばこれによりて病弊を防遏することが出来るであらうといふことを、確信を以て屢々私に語りました
 が、私もさう確信致します。勿論此通り他に應用は出来ぬか知りませぬが、ポルトサンライトの如き
 或はヨークのラウンドレーがやつて居る如きことが起ると思ひます。然らば我國に於て如何なる事を
 學び得るやと云ふと無論今後成可都市と農村との融和接合を勉めねばならぬが差當り先づ諸君は農村
 の娛樂機關、活動機關、教育機關を即ち都會趣味を一層完全に設備されんことを願ふのであります。
 村落に於て活動の機關、例へば矯風會講演會或は家庭會のやうなものを起して始終それが活動して居
 れば家庭が腐敗をしない、青年が悪い方に趣かない、さういふものが出来ると若いものが都會に出な
 いで村落の生活を樂しむことになる。それから教育によつて農業の趣味を感ずることが出来、農村に
 止まるといふことは個人のためにも國家の爲に必要であると云ふ事を悟る様になります。昨日も水野
 參事官が丁抹のことに付てお話がありました丁抹に於て幾多の感すべきもの、一つは簡易農學校の

事でこの生徒は農村から出て卒業後は皆農村に歸つて父兄の事業を助ける事でありまして今日丁抹の
 副業の輸出高は一億五千萬圓程ありまして村落全體の輸出の八割を占めて居る。これ即ち田園から出
 た青年が田園に歸つて其土地の改善を圖ることが丁抹の今日の盛況を見るに至つた主體であります。
 故に斯かる種類の教育を普及してどうぞ諸君は農村の娛樂、活動、教育を盛んにして此田園都市のやう
 にまでは出来ませぬでも幾分にも單調無味に陥り易ひ農村に娛樂と活動とを興へる様に致したいも
 のであります。更に町村の人口が殖へる場合は無暗に此所に一軒彼所に一軒家を造るといふことであ
 りませぬで、出来得るならば先づ以て道路を造つて段々に人家を建て、行くやうな所謂都市經營と申
 しては言葉が大きくなりますが、さういふ經營を致しましてどうぞ無暗に家を造つてどこが何番地か
 分らぬやうな事のないやうにしたいと思ひます。其例は悪い方から申すと神戸に奥平野といふ町が
 あります。そこは家屋に番地を付けまするので此所に一軒家が建つと五番地彼所に一軒出来ると六番
 地になるといふやうに何等の連絡もございませぬ。さうして道も自分勝手に造つて車も通らぬやうに
 してある所が澤山ある。人の家を訪ねると例へば松の木が一本あるその松の木から三軒目の横丁をう
 ねつて行くと誰れの家であると云ふ様な譯で仲々判らぬやうになつて居ります。これは土地の發展の
 上又時間の上から非常に不經濟である。さうして將來必ず市區改正をしなければならぬ。其時には大

の資金を費さなければなりませんから、どうぞ諸君は新市街の經營をなさる時には始めから區劃を立て、徒らに家を造らぬやうに御獎勵になつたら將來の發達の上に多大の益があらうかと思ひます。要するに此田園都市の計畫と實行とは歐羅巴に於て多大の利益をなし又日本に於てもこの精神は都市又は農村の發達の上に參考となる事が尠からずと存じまして茲に此題を撰んで暑いにも拘はらず諸君の御清聽を煩した次第であります。

地方改良談

愛知縣農林學校長 山崎延吉君講演

諸君に何か御話を申すやうにといふことでありまして、出ては参りましたが、何等御話をする材料も纏らず、又御話を申上げる資格もないものであります。唯だ僅かの時間自分の見て感じた二三の御話を申上げて見たいと思ふのであります。

私は何等自分で仕事も出来ませぬものであります、仕事をするに當つての心得として又人の仕事を見る上に於て標準と致しまして、一つの歌を始終記憶致して居ります。これは嘗て中央農事報に出て居つたと思ひますから御承知の方もあらうと思ひます。目に見せて口で話してして見せてやらせて寝ぬ出来ぬものなり。かういふ歌であります。地方の改良といふことを我々が申す資格はありませぬけれども、苟も地方の改良をやらうといふものは目でも見せなければならぬ、口でも話さなければならぬ。やつても見せなければならぬ。やらせた以上は寝ぬてもやらなければならぬ、さうせぬと決して出来るものではないといふ歌であらうと思ひます。ところが我々の始終やりますことは口で話すこと計りであります。近來視察といふことが大變獎勵されるやうになりまして、これは目に見せること

明治四十二年十二月三十日印刷
明治四十二年十二月廿五日發行

(非 賣 品)

内務省地方局編纂

印刷者 水谷景長

東京市小石川区久堅町百八番地

印刷所 博文館印刷所

東京市小石川区久堅町百八番地

地方改良事業講演集
内務省地方局編
明治42年版 上下



定価 25,000円

昭和60年1月25日 復刻初刷発行

発行者 内田力

書肆 芳文閣
発行所

東京都品川区西品川三丁目四番二号
電話 東京03(492)5595
振替 東京7-62830

印刷者 内田力

製本所 一好社製本所
TEL893-8822

.....
落丁・乱丁本はお取替いたします